

議題提案書

(1) 基本情報

議題種別	報告事項
議題名	外務省と NGO による連携に関する重点課題への合同取り組みについて (旧中期連携計画)
提案者の氏名	棚田雄一、塩畑真里子
提案者の所属	NGO 側連携推進委員会
提案者の役職	委員（副代表）（棚田）、調査・提言専門員（塩畑）

(2) 議題提案の背景

昨年 12 月の第 2 回連携推進委員会において、NGO 側より、今後中期的に外務省と NGO の連携を深化させていくために、国際協力の世界的潮流の観点から重要性の高い課題を複数選び、それぞれについて外務省側関係者と NGO 側で内容について理解を深めるための機会を定期的に設定することについて提案を行った。同委員会では、民連室からも昨年 9 月以降の国際協力大綱の改定作業の過程で、ODA と CSO の連携が議論されていることを受け、同様の認識を有していることが確認された。外務省と連携推進委員会が定期的に開いているタスクフォースの会合を活用して、課題の議論を進めていく方向性について合意がなされた。

その後、本年 2 月上旬に、より具体的な進め方について検討するために民連室と連携推進委員会の関係者で議論を行ったところ、3 月以降、以下の 4 点について取り上げる方向性が打ち出された。

1. DAC Recommendation on Enabling Civil Society in Development Co-operation and Humanitarian Assistance
2. 支援の現地化／ローカリゼーション
3. 官民マッチングファンド
4. NGO の能力強化

このうち 1 の DAC 勧告については、すでに 3 月 27 日に 1 回目のタスクフォース会合を開催し、勧告内容について、JANIC アドバイザーの高柳氏より説明を受け、議論を行ったところである。今後、同内容について 2 回目会合を開き、同勧告の実施に向けて、外務省と NGO 側が実施すべき項目について議論する予定である。

また、他の 3 つのテーマについても、今後具体的な日程とリソース・パーソンの選定などに着手する予定である。

(3) 議題の論点（連携推進委員会で議論したい点）

上記について引き続き民連室の協力をお願いしたい。また、内容によっては関係する部署からの積極的な参画を期待したい。また、連携推進委員会としては、今後、官民連携の強化と深化のために外務大臣、副大臣、政務官と定期的に面談する機会を設け、ODA における CSO の参画の意義と実情について、他の G7 諸国や DAC 諸国の事例などをブリーフィングする機会を積極的に設けることを引き続き提案していきたい。

(4) 出席を希望する外務省部局または担当者

国際協力局民間援助連携室

以上